

副審の方へ

基本事項

- ・ 笛はラリー中、 常にくわえていてください
- ・ 笛は決められた笛を使用してください（基本は A・C コート長笛 B・D コート短笛）
- ・ 電子ホイッスルは使用してはいけません
- ・ 笛の音は大きく吹いてください
- ・ 副審は主審の補佐です。 主審が困らないように助けてあげてください
- ・ タイム、 メンバーチェンジの回数などを記録員に確認をして主審にジェスチャーしてください
- ・ 得点、 サーブの順番を記録員と定期的に確認してください
- ・ タイム、 メンバーチェンジはゲームキャプテン又は監督の要求以外は認めてはいけません（拒否して注意してください。 注意後の再要求は遅延行為の反則をとってください）

試合開始までにやること

1. 目玉の確認（監督がいる場合にはサインを確認。 サインがなければ監督として認めてはいけません）
2. 監督が目玉にサインをして監督ワッペンを着用しているか確認（なければ監督として認めてはいけません）
3. リベロがりベロビブスを着用しているか確認（着用していなければリベロとして認めてはいけません）
4. キャプテンがキャプテン章をつけているか確認（着用していなければ本部に報告）
5. 整列・挨拶の確認（整列及び挨拶をしていない選手は試合に参加させてはいけません）
6. 試合開始（目玉を見て正しいローテーションになっているか確認）

試合中の副審が見るべき反則など（抜粋事項）

- ・ パッシング・アウトオブポジション・タッチネット・リベロや後衛プレイヤーのブロックの反則
- ・ ボールが外部の物体や床に触れた際に主審がそれを判断出来ない場合

主審が明らかにミスジャッジをしていると気付いた時は

- ・ ラリー終了直後に審判台に駆け寄り主審に内容を伝えてください
但し最終判断は主審に委ねてください

線審の方へ

位置

自分の担当するラインの想像延長線上でコートのそれぞれのコーナーから 1 ～ 2m 離れた場所に立つ

試合中に線審がジャッジするとき

1. 線審が担当するラインにボールが落下したとき又は線審の 3m 以内にボールが落下したとき：イン又はアウト
2. レシービングチームがアウトボールに接触したとき：ワンタッチ
3. ボールがアンテナに触れたときやサービスされたボールがネット上方の許容空間の外側を通過したとき：アンテナ外通過
4. サービスが打たれた瞬間に競技者（サーバーを除く）がコート外に踏み出していたとき
5. サーバーがジャンプサーブ及びエンドラインを踏んでサーブを打ったとき
6. ボールがネット上方の許容空間外側のネットの垂直面を通過するか、
又はアンテナに触れたとき主審から要請があった場合、 線審はその合図を繰り返さなければならない
7. 判定不能

線審ワンタッチ	ジャンプサーブ、アンテナ 外通過、ラインクロスなど	線審判定不能	線審ボールアウト	線審ボールイン	こちらに記載されてい ないハンドシグナルは 事象の起こった場所を 人差し指で差してくだ さい
					